

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

① 什器備品

定額法によっている。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	5,000,000	0	0	5,000,000
小 計	5,000,000	0	0	5,000,000
特定資産				
部会事業引当資産	460,000	0	0	460,000
単位会周年事業負担金引当資産	2,000,000	2,000,000	0	4,000,000
小 計	2,460,000	2,000,000	0	4,460,000
合 計	7,460,000	2,000,000	0	9,460,000

3. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	1,766,345	1,416,267	350,078
敷金・保証金	321,945	0	321,945
合 計	2,088,290	1,416,267	672,023

4. 補助金等の内訳並びに当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに当期の増減額及び残高は次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
助成金					
助成金運営事務委託費等	(公財) 全国法人会総連合	0	3,300,000	3,300,000	0

貸借対照表上の記載区分は一般正味財産である。

(注) 上記以外の項目については該当なし。

附 属 明 細 書

1. 基本財産及び特定資産、その他固定資産は、財務諸表に対する注記に記載している。